

# 3. 視覚障害編

## (1) 目の不自由な人に出会ったら

目の不自由な方には、生まれつき全盲の方、弱視の方、中途失明の方、目と耳に障害のある方など、いろいろな視覚障害の方がいます。

こんにちは  
はじめまして



### ① 初めて会ったときには握手を

「私は〇〇の△△です」と声をかけてください。見える人から軽く握手をしてください。握手されると相手がどの方向にいるか、また、背の高さがどれ位かわかり、見当違いの方向を向く失礼が避けられます。

### ② 誘導するときは腕や肩をかして半歩前を

誘導するときは、相手に肩から肘の間で持ちやすいところを軽く握ってもらいます。つかまった手を通して相手の身体の動きがよくわかり、安全に歩くことができます。また、歩く時は、誘導する人が誘導される人の半歩前にいてください。

### ③ 杖や手には急に触れない

目の不自由な人は、歩行中にアンテナの役割をしている白杖や手を急に引っ張られたり、腕を抱きかかえられたり、後ろから身体を押さえられたりすると大変不安に感じますし、危険ですので注意しましょう。

### ④ 物の位置は時計の文字盤に例えましょう (クロックポジション)

物の位置や食事の案内などは、3時の方向にパン、6時の方向にサラダ、9時の方向にコーヒーといった具合に、時計の文字盤の位置で指示してください。



### ⑤ 道などを聞かれたときは正確（具体的）に

目の見えない人の立場に立って説明しましょう。「向こう」「あっち」などのような抽象的な表現は使わず、立っている場所を中心に「前へ何歩」「右へ何メートルの所」というように具体的・正確に伝えましょう。

### ⑥ 食事の際には料理の説明も

食事は楽しみながらしたいものです。器にそっと触れさせてあげると、形や大きさがわかります。また、色や模様などを説明してあげると、より楽しい食事になります。なお、お茶をいれかえたときなどは、位置を変えないように置いてください。

また、席をはずすときはだまって席を立たれると、いなくなった人に話しかけることがありますので、「ちょっと席をはずします」とひと声かけてください。

ちょっと  
席をはずします

